

□鉛筆デッサン（3時間）

【問 題】

与えられた3つのモチーフ（立体パズル、綿ロープ、ガラス容器）を机上で自由に組み合わせて描写しなさい。

[条件]

1. 答案用紙は縦横自由。
2. 3つのモチーフは必ず描くこと。
3. それぞれのモチーフは切ったり、壊したりしてはならない。ただしガラス容器の蓋は開けて描いてもよい。また、立体パズルは変形させて良い。



□小論文（2時間）

【問 題】

配付した文章は、楠本智郎（つなぎ美術館学芸員）による小論「過疎地域におけるアートプロジェクトの現場から」の一部抜粋である。つなぎ美術館は、水俣病からの地域再生を目指して1984年に「緑と彫刻のあるまちづくり」を開始した熊本県津奈木町に、町立美術館として2001年に開館した。2008年に町民の美術館利用促進のために住民参加型アートプロジェクトを開始、2014年からは地域との関わりを重視した複数のアートプロジェクトを実施した。この文章を読んで、まず著者の主張を要約してから、社会とアートのつながりに対するあなた自身の考えを、本文と関連付けながら1,000字以内で述べなさい。なお、タイトル欄に16字以内のタイトルをつけなさい。

[条件]

解答は、配付された原稿用紙に、指定字数に従って縦書きで記入すること。

別紙×1枚

出典：楠本智郎 「過疎地域におけるアートプロジェクトの現場から」

『ソーシャルアトラボー地域と社会をひらく』九州大学ソーシャルアトラボ編、水曜社、2018年。

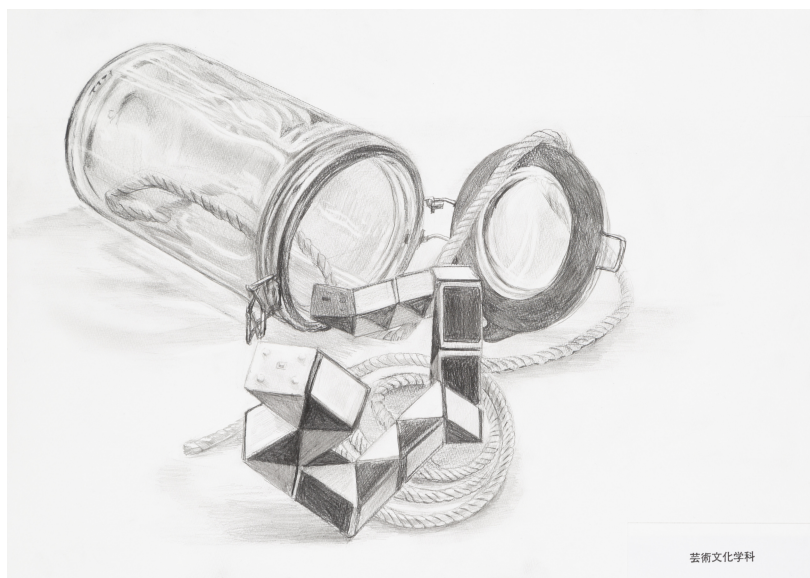
※別紙、小論文の解答は、6月下旬発行の「入学試験問題集」をご確認ください。



芸術文化学科



芸術文化学科



芸術文化学科